ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会

関連施策のご案内と今後の研究会の進め方について

研究会設立の背景

 「福島・国際研究都市(イノベーション・コースト) 構想」(平成26年6月)でプロジェクトの一つとし て提案された、リサイクル事業を柱とするスマート・ エコパークについて、「ふくしま環境・リサイクル関 連産業研究会(仮称)」の設立が提言された。

福島県ホームページ:

http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/innovation.html

• これを受け、福島県が、その組織や活動等の内容を検 討し、**昨年8月10日に本研究会を発足**させた。 2

取組の方向性 (スマートエコパーク中間整理より)

「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会(仮称)」

ネットワーク化、検討深化

- 関連産業、団体等のネットワーク化
- 提案事業のフィージビリティ・スタディ
- 新事業創出に向けた検討(民間企業・ 団体等からの提案も含む)
- 資源のエネルギー利用の検討
- 規制緩和、制度改正の必要性検討
- ・ 国等における必要予算の確保

※他の県の検討分科会(エネルギー、 農林水産)とも連携

研究開発、技術実証、 企業立地支援、情報発信

- 先進的リサイクル技術や事業への研究開発、技術実証事業等の実施
- ・ 企業立地への取組推進
- これらへの各種支援策の措置(立地 補助金等の支援制度、産業振興セン ター、ハイテクプラザ等によるサポート)
- 産業フェア等を通じた県内外への情報発信

産業人材の育成

- ・ リサイクル関連産業人材に向けた体 制構築
- <連携機関>
- ✓ 自治体
- ✓ 教育機関(大学·高等専門学校等)
- ✓ 民間団体
- <対象者>
- ✓ 環境・リサイクル関連企業の経営者層
- √ 環境・リサイクル関連企業の技術者(実践人材)
- ✓ 環境・リサイクル関連企業の研究者

環境・リサイクル分野における新たな産業集積へ

研究会の目的

- 環境・リサイクル分野において、県内外で産学官によるネットワークを形成し、研究開発や人材育成等に取り組むことで会員の技術基盤の強化と持続可能なリサイクルのシステムの構築を図り、新たな事業を生み出す。
- ・以上を通じて、2020年に向けて<u>浜通り地域を中心に</u> 新たに環境・リサイクル産業の集積を進める。

目標スケジュール

内容	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度以降 (2020年度)~
研究会の設置・運営						リ浜サ温
事業可能性調査の 実施						リ サイク地 ル 連 を 業中
ワーキンググルー プの設置・運営	[の心 集に 積環 境 ・
各プロジェクトの 実施		研究開発・実証研究・事業化の推進				5

取組内容

- ・研究会の運営の企画
- 事業可能性調査
- ワーキンググループ(WG)の設置・運営
- 各プロジェクトの実施(研究開発、実証、事業 化の推進)

ワーキンググループのイメージ

研究会活動 く ジネス

ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会 (本会議)

勉強会等を通した情報収集・ 意見交換等により当該分野の 人材育成や技術基盤の強化を 行い、アイデアの創出を図る (公開)。 分野別ワーキング・グループ (WG) ∕へ

会員企業が持つアイデアの実現可能性を高め、その早期実現を図るために、企業同士のマッチングを通じた取組を促進する。また、WG内の各社共通課題の検討を行う(公開)。

ビジネス展開 (立地・事業展開等)

企業グループの独自の展開を すすめ、技術・ノウハウ等の 蓄積を図る(非公開・守秘)。 新たな環境・リサイクル産業の集積

これまでの経過

事業構想の提案集約 (14社)

事業化推進会議準備会合 (H28,1,12)現状と課題の把握と共有 提案のブラッシュアップ

事業化推進会議 3回開催 (H28,1,26/2,9/2,24) 提案各社との意見交換

- 実用化事業・実証事業
- 企業立地・事業展開へ



設置ワーキンググループ

- ①石炭灰リサイクル検討WG※
 - 販路開拓・研究開発等を検討
- ②小型家電リサイクル検討WG*
 - 福島県広域収集モデルを検討
- ③太陽光パネルリサイクル検討WG*
 - リサイクルシステムの在り方を検討
- 4廃棄物処理システム検討WG※
 - 廃棄物処理システムの在り方を検討

ワーキンググループ(WG)の運営方針

○10事業者未満で構成

積極的に事業に関わることが参画要件

○幹事社を設け、会員企業が主体的に運営

県が会場等の手配を行うなど事務局機能を支援

○早期の事業化

単なる勉強会ではなく早期の事業化を目指す

今後の取組

- ○研究会活動: セミナー・講演会等の実施 リサイクル事業の最新動向・トピックス等を共有する。
- ○事業可能性調査事業の実施: フォローアップ実施 現時点で具体化されていない事業構想や提案について掘り起こし、事業化に向けたフォローアップを行う。

○ワーキンググループ(WG)の設置

会員事業者等が実現したいと考えるリサイクル事業の構想を深掘りし、**ネットワーク形成、ビジネス展開**する。

研究要素があれば、<u>地域復興実用化開発等促進事業等、補助事業</u>への提案を行っていく。

福島イノベーション・コースト構想 実現可能性調査等補助事業【復興】

平成28年度予算案額 1.0億円 (新規)

事業の内容

事業目的·概要

- 福島イノベーション・コースト構想については、イノベーション・コースト構想推進会議の議論の整理を踏まえ、今後、関係者が一丸となって、ロボットテストフィールド、国際産学連携拠点、スマートエコパーク、エネルギー関連産業プロジェクト、農林水産プロジェクト等のプロジェクトの事業化、拠点の整備を進めていきます。
- プロジェクトは様々な主体が実施していくことになりますが、本事業では、 県や民間企業等においてこうしたプロジェクトの具体化を進めていくにあ たり必要な調査等を実施します。

成果目標

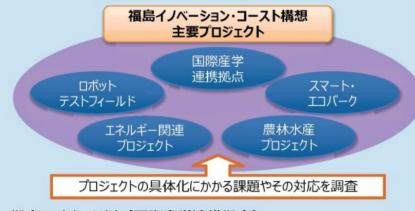
調査を通してプロジェクトの具体化にかかる課題やその対応を検討し、 拠点の整備につなげます。

条件(対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

● 県や民間企業等が主体となって検討するプロジェクトについて、実施体制、拠点の機能、他の機関との連携・機能分担等の課題やその対応を検討する実現可能性調査等に必要な費用を補助します。



拠点のイメージ例(国際産学連携拠点)



福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金 (地域復興実用化開発等促進事業)【復興】

地域経済産業グループ 福島産業復興推進室 03-3501-8574 製造産業局 産業機械課 商務情報政策局 医療・福祉機器産業室

平成28年度予算案額 69.7億円 (新規)

事業の内容

事業目的·概要

- 福島県浜通り地域において、国内外の研究者、技術者、企業等の英知 を結集するためにも、共同で研究を行い、イノベーションを創出する環境を 整備していくことが必要です。
- 今後、福島第一原発の廃炉や被災地域の復興を円滑に進めていくため、 その周辺地域において、ロボット技術をはじめエネルギーや農業など多岐に わたる分野の研究開発が実施されることとなりますが、このような先端課 題の解決に向けて開発された技術や人材が福島県浜通り地域の産業 復興を支える新技術や新産業創出の原動力となることが期待されていま す。
- そのため、福島県浜通り地域において、イノベーション・コースト構想の重 点分野について、地元企業との連携等による地域振興に資する実用化 開発等を促進し、福島県浜通り地域の早期の産業復興を実現すべく、
 - ①福島県浜通り地域において実施される実用化開発等
 - ②国際産学官共同利用施設への入居による実用化開発等 などの費用を支援します。

成果目標

2020年(平成32年)オリンピック・パラリンピック東京大会までを当面の目 標に、福島県浜通り地域に先端的な産業の集積を創出します。

条件(対象者、対象行為、補助率等)

補助

補助

福島県等



民間企業等

2/3, 1/2

事業イメージ

地域復興実用化開発等促進事業イメージ

ロボット技術等イノベーション・コースト構想の重 点分野(*)について、地元企業との連携等に よる地域振興に資する実用化開発等の費用を 補助します。

* 廃炉、ロボット、エネルギー、環境・リサイクル、 農林水産業等の分野を言います。



広野町

いわき市

福島県

DIST

9231141

集町

【支援対象となる実用化開発等】

- ①福島県浜通り地域において実施される 実用化開発等
 - ■地元企業等

補助率 大企業1/2、中小企業2/3

- ■地元企業等と連携して実施する企業 補助率 大企業1/2、中小企業2/3
- ②国際産学官共同利用施設への入居 による実用化開発等

補助率 大企業1/2、中小企業2/3





ふくしまからはじめよう。

今後とも、研究会の活動にご支援、ご協力をお願いします。